

読売新聞 きょう（5月9日）のイチ押し

1面・社会面 園児の列に車 2人死亡 1人重体

大津市の県道交差点で、信号待ちをしていた保育園児 13 人と保育士 3 人の列に軽乗用車が突っ込み、園児 2 人が死亡しました。1 人が重体となり、13 人が重軽傷を負いました。

- ★ 園児たちは近くの保育園に通っており、事故当時は引率の保育士とともに日課の散歩に出かけていました。
- ★ 事故は交差点で発生しました。右折中の乗用車と、対向車線を直進していた軽乗用車が衝突。その弾みで軽乗用車が歩道に乗り上げ、園児らをはねてしまいました。子どもたちの笑顔が一瞬にして失われた痛ましい事故です。

2面 ふるさと納税 泉佐野除外

政府は6月1日以降、大阪府泉佐野市を「ふるさと納税」の利用対象から除外する方針を固めました。

- ★ 泉佐野市は、総務省から豪華な返礼品の自粛を再三要請されていましたが、従うことなくネット通販「アマゾン」のギフト券やビールなど過度な返礼品を続け、多額の寄付を集めてきました。
- ★ 総務省は、同市を除外する理由について「制度の趣旨を大きくゆがめ、自治体間の返礼品競争を招いた」としています。

関西経済面 ニュース深層 段ボール通販需要で活況

段ボール業界が活況を呈しています。インターネット通販の拡大で、包装材としての段ボールの需要が急増していることが要因です。関西は関連産業が集積しており、明るい材料です。

他紙と比べて

本紙のスポーツ記事は、巨人だけでなく、米大リーグの情報も満載です。本日は、ようやく実戦復帰を果たしたエンゼルスの大谷選手の表情を取り上げています。別の面には、大谷選手の迫力のある全面広告もあります。セットでお楽しみください。